



組立専用ライン

金属板穴明け切断及び切断加工を革新化

平成25年度 補助事業と具体的成果

事業テーマ

金属板の穴明け加工と切断加工をプレス金型なしで実現する

事業概要

精密板金加工の最初の工程のブランク加工で、図面データを基に素材の穴明けは切断を行うが、従来は金型を使ったプレスによる方法で行っていた。しかし、プレス加工ではプレス金型を作成するコストや期間がかかり、NCTタレットパンチ加工時も金属板に傷やバリが生じるといった問題があった。補助事業を使って、このプレス加工に代わり、最新のレーザーNCT複合を導入し、プレス金型を使わずに機械制御プログラムを駆使することで問題解決を図った。



フル稼働のレーザーNCT複合機

課題

- 従来金属板の穴明けや切断といったブランク加工で使っていたプレスによる方法では金型を作成するコストやその製作期間、そして加工時の傷やバリ取りの必要があった。

取組

- 最新のレーザーNCT複合加工機を導入して機械制御プログラムで作業を行い、プレス金型を使用せずに穴明けや切断の作業ができるようにした。

成果

- 穴開けはパンチ加工でコストを抑えながら精度を向上させ、外周はレーザー加工によりバリの発生がなく滑らかな切断ができるようになった。

業務内容

相次ぐ挑戦、新製品が屋台骨を支える

昭和53年の創業だから今年で42年になる。もともと大手オフィス家具メーカーに納めるスチール製の机や椅子、ロッカーなどを製造していた。日本がバブル景気に沸いた時代には同社も絶好調で売上げを伸ばしたが、バブル崩壊後にはその1社依存の体制があだとなり業績を直撃した。そこからスーパーの売り場に並ぶ陳列棚などの什器や大型書店の店頭に並ぶ本棚などに事業を横展開していった。

特に平成20年の秋に起こったリーマンショックの後は「とにかくいろいろなところの仕事を集めた」と曾我章社長は振り返る。その多くは部品加工だったが、長男の一平専務がそれまでの経緯を振り返って完成品を手掛けることにこだわり、郵便受けや宅配ボックスに挑戦していった。今ではこの両製品が同社の屋台骨を支える事業になり、昨年新築した大東工場（大阪府大東市）は今、その専用の組立工場となっている。



郵便受けのラインアップ

B to Cにも乗り出す

このほかにも、今年7月にはコロナウイルスの感染防止対策として足踏み式消毒液スタンドを発売した。これまでの製品がメーカーのOEM供給に留まっていたが、このスタンドは同社が初めてアマゾン、ヤフーなどのネット業者を通じて、直接消費者向けに販売するものだった。同社ではさらにネット販売だけでなく、問屋ルートの開拓も急いでいるところだ。



足踏み式消毒液スタンド

強みとビジョン

大手オフィス家具メーカーで鍛えられたものづくり

もともと大手オフィス家具メーカーの仕事をしてきたことが、曾我製作所のものづくりに対する実力を高めていたのだろう。図面がなくても、デザインのイメージや求める機能、コンセプトが予め決められていれば、それだけで設計を自ら手掛け、精度の高いものを作り上げていくことができる。

同社に依頼する顧客にとってもこれは便利だ。単一の商品が大量に売れる時代ではなくなっている今日、ちょっとしたデザインや色、大きさなども変えて、ニッチ市場を取り込もうとする動きに応じてくれる。「月100台でも対応できます」と曾我専務。

板金業の枠を越える

材質も15、6年前までスチールしか扱っていなかったが、今ではステンレス、アルミ、ニッケル合金に至るまでいろいろな材質に挑戦し、結果を残している。材質が変わると溶接など新しい技術が必要になるが、中途採用者がそれにうまく対応したりしている。

ユーザーが求めるものなら、プラスチックやパッキン、強化ガラスなども仕入れて商品に取り入れている。今ではこれら板金業の枠を越える動きを見せ、タブーはないかのようだ。

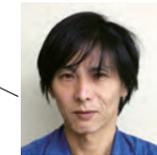


新設した大東工場

規模より利益率重視へ



創業当時は家内と2人で始めた事業は、長男の一平専務が入社した頃には20人ほどになり、そして今では非正社員を含めて50人の規模にまで成長することができました。これからは規模より、安定して事業が継続できるように利益率を重視して、できれば広い分野で自社製品をもっと充実させていきたいです。



●社名 株式会社 曾我製作所
●代表者 代表取締役社長 曾我章
●住所 〒571-0008 大阪府門真市東江端町8-33
●TEL 072-885-1371 ●FAX 072-884-8712
●資本金 10,000千円 ●従業員 50名
◀◀ 代表取締役専務 曾我一平

<http://www.sogaseisakusyo.co.jp/>

- 主な取引先 大手エクステリアメーカー、大手オフィス家具メーカー
- 主な保有設備 レーザーNCT複合加工機、NCTタレットパンチ、パネルバンダー、150トンプレス機、3DCADなど
- 主力製品 エクステリア商品（宅配ボックス、郵便受けなど）、鉄道車両部品、オフィス家具など



REPORTER'S EYE

曾我製作所の工場の中を見て驚いた。高価な工作機械がいっぱいに詰まっているという感じだ。曾我章社長は「創業以来、苦しい中でも設備投資は怠りなく続けてきた」と振り返る。大手メーカーからの受注を確保するために仕方がなかったのかもしれないが、設備投資につぎ込んだ結果はきっちり出てきている。挑戦を「よし」とする風土はそんなこれまでの歩みが築き上げたものだろう。いつまでもその魅力がなくならないようにと願う。